

## 人材紹介サービス会社や 人材派遣会社は使わない

現在、多くの医療機関の悩みの種となっているのが看護師不足。とりわけ、スタッフの確保が難しい地方の小規模の病院にとっては、死活問題となっている。ところが、首都圏の郊外に立地し、病床数190床ながら「看護師の勤続年数が長い」と注目されているのが、埼玉県春日部市の医療法人光仁会春日部厚生病院だ。

同院は1981年に開設され、現在、聖光会グループの一員として、地域医療の一翼を担っている。回復期リハビリテーション病棟74床、介護療養病棟60床、一般病棟32床、地域包括ケア病棟24床を擁し、職員数は正看護師45人（うちパート15人）、准看護師35人（同13人）、ケアワーカー57人（同13人）の合計137人。

看護師確保のため、人材紹介会社や光仁会では、長らく外部の会社へ人材を斡旋してもらったことはないという。同法人の秋尾智子在宅部門担当部長（前同院看護部長）は、「看護師の採用は看護部長の責務。人材確保ができないなら、責務を果たせないと思います」と言い切る。看護師の待遇は、



## 子育てと キャリアアップが 両立できる病院

医療法人光仁会  
春日部厚生病院



地方の中小病院の多くが看護師集めに苦心するなか、春日部厚生病院は新卒採用や人材紹介に頼らず継続的に看護師を確保している。そのカギを握るのが、看護師の子育てを支援する仕組みと、パートのケアワーカーから准看護師、正看護師へといったステップアップの奨励だ。



### 医療法人光仁会 春日部厚生病院

埼玉県春日部市緑町6-11-48  
TEL: 048-736-1155

URL: <http://www.kasukabe-kosei.jp/>  
診療科目: 内科、循環器内科、消化器科、外科、肛門科、呼吸器科、整形外科、皮膚科、形成外科、小児科、泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科  
病床数: 190床  
職員数: 269人

同地域のほかの病院と特に変わらないなか、なぜ同院は看護師を引きつけてやまないのか。

### ケアワーカーには 資格の重要性を伝える

大きな理由の一つが子育て支援体制の充実。同院でも、看護師・介護職は圧倒的に女性が多い（男性看護師は2人、介護職3人）。「出産後に復帰する女性にとって子育ては最大の問題です」（秋尾前看護部長）。

同院は、開院とともに24時間体制の保育所も併設。保育所は学童保育（8時45分～17時45分）にも対応しており、小学6年生まで面倒を見る。

産休や育休は、常勤職員・パートともに取得可能で、時短勤務制度も取り入れている。残業・夜勤について

文＝野澤正毅 撮影＝関口宏紀

は、常勤職員の増員などでカバーしている。パートから常勤職員となった奥出奈津子看護師は勤続10年目。「上司によく相談に乗ってもらえ、働きやすい職場です。子どもの体調不良の際には急な休みにも対応してもらえ、など、育児も積極的にフォローしてくれます」と話す。

もう一つの理由が院内キャリアアップ制度。同院では、14年度に正看護師5人、准看護師1人、ケアワーカー9人を新規採用したが、正看護師は、全員がもとも同院の職員。職員など内部からの紹介で採用するケースもあるが、ケアワーカー、准看護師、正看護師といった具合に、職員が働きながら資格を取得していくコースがメインなのだ。10年4月〜14年3月について見ると、ケアワーカーから准看護師になったのが3人、准看護師から正看護師になったのが3人となっている。また、22人がパートから常勤職員となった。

同院にパートで入職してくる准看護師やケアワーカーは多い。「こうしように説得します。とりわけ、ケアワーカーには、資格の重要性を伝え、准看護師、あるいは介護福祉士の資格取得を勧めます」と、秋尾前看護部長



1 職員同士での声かけなど、産休や育休から復帰した職員が職場になじみやすい組織風土がととのっている  
 2 いつでも部下が相談に来られるように開放されている看護部長室  
 3 院内カンファレンスの様子  
 4 「何かあれば遠慮なく看護部長に相談できる風土が整っています」と話す高橋泰子看護部長  
 5 「今後は看護師がより自分の理想とする看護を実現できるような教育体制を整えたい」と話す秋尾智子在宅部門担当部長、前看護部長  
 6 「看護部長や職員の見守りがあるなかで、常に一体感をもって働いています」と話す奥出奈津子看護師

は話す。すると、大半のスタッフは資格の勉強を始めるそうだ。つまり、パートの准看護師やケアワーカーを候補生として、より上位資格の取得を推

奨することで、資格職を増やしていくという戦略だ。奨励の仕組みも整っている。「看護学校の入学金や教材費は同院が全額負担、最大で年額84万円

の奨学金も支給します。一定期間勤務すれば、返済についても猶予期間を設けています」「永塚暁生同法人経営管理部長。もちろん、子育てをしながら、資格の勉強もできる。

**最後は人と人の絆が人材定着の決め手**

ただし、最後は人と人の絆が決める手というのが、秋尾前看護部長の持論だ。

「看護師に働き続けてもらいたいなら、まず看護部長が看護師と真剣に向き合ってください。私には50年のキャリアがあります。当法人の理事長からも看護師に対する権限を広くいただき、仕事のほかプライベートの相談にも乗れる環境をつくってきました。『あなたの幸せを心から願っている』ことが相手に伝われば、信頼関係が生まれます。当院を辞めて、また戻ってくる看護師も受け入れています」

看護部長室は、いつでも部下が相談に来られるようにドアを開放しておくのが伝統。今年4月に就任した高橋泰子看護部長は、「そうした伝統は引き継ぎます。当院は地域包括ケアや在宅看護にも力を入れているので、今後看護部をさらに拡充させたいです」と意気込み。